

令和7年度 白井市地域自立支援協議会 全体研修会 開催企画書

1. 目的

近年、ひきこもりの長期化・高齢化は「8050 問題」として社会課題化しており、個人の問題だけでなく、家族機能維持や地域社会のあり方にも影響を及ぼす喫緊の課題となっています。本研修会は、白井市地域自立支援協議会が主体となり、地域の多様な関係者がひきこもり支援に関する最新の知見と具体的な支援手法を学ぶ機会として開催します。ひきこもり状態にある本人と、それを支える家族が孤立することなく、安心して地域で暮らしていけるよう、本協議会の生活支援部会・就労支援部会をはじめとする関係機関の連携強化と、支援のネットワーク構築を促進することを目的とします。

2. 開催概要

(1) 研修会名： ひきこもり支援、はじめの一步

～孤立から、つながりへ。本人と家族を地域でまらごと支える第一歩～

(2) 日時： 令和7年11月の平日午後（120 分間）

(3) 会場： 白井市役所内 会議室（団体活動室等）

(4) 対象者：

* 白井市地域自立支援協議会 委員

* 市内障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等の職員

* 医療、保健、介護、教育、就労、行政等の関係機関職員

* 民生委員・児童委員、自治会役員、本テーマに関心のある市民

(5) 定員： 50 名

(6) 実施方法： 対面

3. 研修内容

ひきこもり支援の実践家である赤堀氏（NPO 法人リンク）の講演を中核に据え、地域の支援機関との連携を考える構成とします。

時間	プログラム	内容詳細
開会(5 分)	開会・趣旨説明	主催者挨拶
第Ⅰ部(75 分)	講演『地域ではじめる ひきこもり支援 ～多 様な社会参加のカタチ	講師：赤堀 久里子 氏（特定非営利活動法人リンク） 豊富な支援経験に基づき、ひきこもりの背景にある困 難、家族との関わり方、地域における居場所の重要

	と、私たちにできること～』	性、多様な社会参加へのステップなど、具体的な事例を交えてお話しいたします。
第2部(35分)	連携を考えるセッション&質疑応答『白井市の支援の輪をつなぐ』	登壇者：赤堀 久里子 氏・白井市役所 社会福祉課担当者・暮らしと仕事のサポートセンター 相談員 進行：協議会事務局責任者 赤堀氏の講演を受け、白井市の公的相談窓口の役割を紹介。会場からの質問を交えながら、「最初の相談をどう受け止めるか」「どう地域資源につなぐか」など、具体的な連携方法について意見交換を行います。
閉会(5分)	まとめ・閉会	研修の要点を振り返り、今後の連携に向けたメッセージを発信し、閉会。アンケート記載の依頼。

4. 講師・登壇者

(1) メイン講師

* 赤堀 久里子 氏（特定非営利活動法人リンク 社会福祉士・精神保健福祉士）

(2) 連携セッション登壇者

* 白井市役所 社会福祉課 担当者（業務としての参加を依頼）

* 暮らしと仕事のサポートセンター 相談員（業務としての参加を依頼）

* 進行：協議会事務局責任者

5. 期待される効果

(1) ひきこもり支援の第一線で活動する専門家から、実践的な知識と視点を学ぶことができる。

(2) 参加者が、白井市で利用可能な公的相談窓口等の役割を具体的に知ることができる。

(3) 専門家と地域の支援者が一堂に会することで、顔の見える関係が構築され、今後の連携のきっかけを得る。

6. 準備スケジュール（案）

- 令和7年8月：企画決定、講師・登壇者の選定および内交渉
- 令和7年9月：講師・登壇者への正式依頼、広報物（チラシ等）の作成
- 令和7年10月：関係機関への周知、メール等での参加者募集開始
- 令和7年11月上旬：最終案内、配布資料準備
- 令和7年11月中下旬：研修会開催
- 令和7年12月：アンケート集計、事業報告書の作成、協議会本会での成果報告

7. 所要経費（予算 30,000 円以内） 基幹が負担？

費目	単価	数量	金額	備考
講師謝金	20,000 円	1 名	20,000 円	赤堀 久里子 氏（予定）
講師交通費	5,000 円	1 式	5,000 円	実費弁償
資料印刷費	30 円	60 部	1,800 円	
消耗品・雑費	-	一式	3,200 円	登壇者お茶代など
合 計			30,000 円	

以上、本企画についてご審議の上、ご承認くださいますようお願い申し上げます。

白井市地域自立支援協議会事務局 白井市基幹相談支援センター 飯ヶ谷